

海事人材確保促進事業に協力 ～愛媛県委託事業「お仕事フェスタ 2019」～

日本船主協会では、2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

今般、その活動の一環として、愛媛県より協力要請を受け、海運人材確保促進事業「お仕事フェスタ 2019」に協力をを行い、船員の仕事の魅力や海運業務についてPRを行いました。



会場の様子

愛媛県後援の「お仕事フェスタ」(主催：河原学園)は、主に小・中・高校生とその保護者を対象に、様々な職種に触れ、将来の仕事について考えてもらうことを目的に開催されているイベントです。今回が10回目の開催となった当イベントですが、日本船主協会は5回目のブース出展を行いました。

今年度は、3月2日(土)・3日(日)10時～16時、アイテムえひめにて開催されました。当イベントには、約120種類の職種のプロが集まり、約110種の職業ブースと約40種類の体験ブースが設置され、2日間で7,686名が来場しました。

当協会の職業体験ブースには、2日間で約300名が訪れ、約190名がブース内に設置した操船シミュレータで来島海峡周辺の操船を体験しました。子ども用の船長制服の試着コーナーを設けたほか、船員の仕事を紹介するパネル展示も行いました。また、子どもたちや保護者からの質問にもそれぞれ対応しました。

操船シミュレータ体験は、一度も列が途切れることのない盛況振りでした。訪れた子どもたちは、船を操縦するという貴重な機会を楽しんでいました。船長になりきり、真剣な眼差しで舵を取る姿がとても印象的でした。

この取り組みは高い評価を受けており、今後も優秀な日本人船員確保のための広報活動の一環として、このような要請に幅広く応えていきたいと考えています。



操船シミュレータを体験する子どもの様子



日本船主協会・愛媛県 職業体験ブースの様子